

天体観測ドーム 今月のOPEN

18:30~21:30 まで（晴天時のみ）

8/

1 日(土)~31 日(月)

10 日(月)の休館日をのぞいて毎日



2026 年 8 月号

- 2 日 水星が西方最大離角
- 6 日 下弦
- 7 日 立秋（太陽黄経 135 度）
- 13 日 新月 / 皆既日食（日本では見られない）
11 時頃、ペルセウス座流星群が極大（見頃は 13 日未明。1 時間に 35 個程度。月の条件は良い）
- 15 日 金星が東方最大離角
- 19 日 伝統的七夕
- 20 日 上弦
- 23 日 処暑（太陽黄経 150 度）
- 28 日 満月 / 部分月食（日本では見られない）

★用語解説★

立秋（りっしゅう）…暦の上では秋の始まりとされますが、実際には一年で最も暑さが厳しい時期です。

伝統的七夕（でんとうてきたなばた）…旧暦（太陰太陽暦）に基づく本来の七夕のことです。新暦（現在の暦）の 7 月 7 日とは異なり、天文学的に計算して決定されるため毎年日付が変わります。

処暑（しょしょ）…二十四節気の第 14 で、夏の厳しい暑さが峠を越え、秋の気配が感じられ始める時期です。

★ ペルセウス座流星群 ★

8 月 12 日の深夜から 13 日の未明、および 13 日の深夜から 14 日の未明にかけて最も多く見頃を迎えます。

今年は極大日が新月と重なるため、月明かりの影響を全く受けず、空が暗い場所では 1 時間に最大 35~40 個ほどの流れ星が期待できる絶好の観測条件です。

今月の惑星情報

水星

日の出前の東の低空に位置し、2 日に西方最大離角となります。1 日から 8 日は日の出 30 分前の高度が 10 度を超え、見つけやすくなります。1 日から 8 日の明るさは 0.3 等からマイナス 0.5 等。

金星

日の入り後の西の低空で明るく輝き、15 日には東方最大離角となります。明るさはマイナス 4.3 等からマイナス 4.6 等。

火星

おうし座からふたご座にかけての領域を東に移動しています（順行）。日の出前の東の空に見え、明るさは 1.3 等から 1.2 等。

木星

かに座の領域を東に移動しています（順行）。見かけの位置が太陽に近く、観察は難しいでしょう。

土星

うお座の領域を西に移動しています（逆行）。真夜中の東から南東の空に見え、明るさは 0.6 等から 0.5 等。



☆雨天時のお問い合わせ☆コンパルホール 097-538-3700